

< N P O法人等の非農家等との連携を実施している事例 >

集落ぐるみで実施した災害対策及び耕作放棄地の解消

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	富山県砺波市 芹谷			
協定面積 5.4ha	田(100%) 水稲・蕎麦	畑 -	草地 -	採草放牧地 -
交付金額 113万円	個人配分			30%
	共同取組活動 (70%)	集落各担当者活動経費(役員報酬)		5%
		農業生産活動費		5%
		農業施設維持管理費		19%
		多面的機能増進活動経費		33%
体制整備活動経費		8%		
協定参加者	農業者 24人、非農業者8人(構成員32人)			

2. 取組に至る経緯

芹谷集落は、砺波市の中心部から東へ約7km、梅檀野地区南西に位置している。集落内には、傾斜が大きく作業効率の悪い農地が多く、集落内に存在した耕作放棄地は、その原因のほとんどが高齢化による離農であった。

このような状況下において、今後、農業者の高齢化、離農によるさらなる耕作放棄地の増加が懸念されていたことから集落協定を締結し、集落内の農業者・非農業者が連携した共同活動による、農道・水路の保全・改修、耕作放棄地の解消に取り組むこととなった。

3. 取組の内容

- ・地域マップを作成し、農道・用排水路・傾斜面の計画的な保全・改修活動を実施して災害発生防止に努めている。
- ・集落内の農業者・非農業者が連携して、耕作放棄地を水田へ復旧するとともに、集落で管理することを集落常会等において周知徹底を図り、耕作放棄地の解消を実施している。



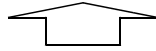
耕作放棄地の復旧作業(代掻き)



用排水路の改修工事

[集落の将来像]

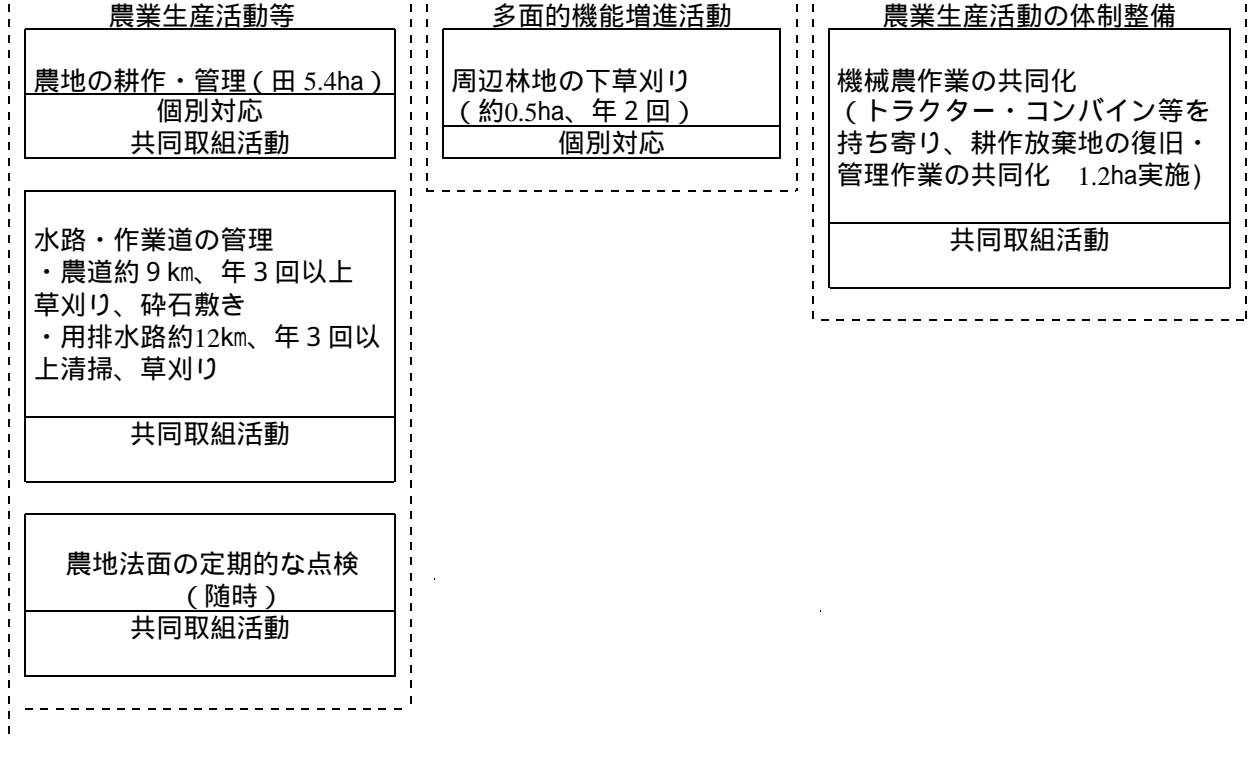
集落内農業者の高齢化・離農に対応するため、農道・用排水路の改修・保全等を、非農業者を含めた集落住民の共同取組活動により実施、耕作放棄の防止に努める。



[将来像を実現するための活動目標]

農道・林地・法面の一体的な改修・保全の実施。
集落協定参加者の共同取組活動による耕作放棄地の発生防止。

[活 動 内 容]



4. 取組による変化と今後の課題等

- ・農道・用排水路・傾斜面等の保全・改修の取組みの実施にあたり、常会等でそのメリットを説明することにより、非農業者をはじめ、多くの集落住民に参加してもらうことができた。
- ・集落内の耕作放棄地を、水田・転作田・自家菜園へ復帰させることができた。
- ・台風・大雨等災害時に、農道・用排水路・傾斜面等の巡回が行われるようになった。

[平成20年度までの主な成果]

集落常会等での話し合いの活発化

地域マップの作成による、農道・用排水路・傾斜面の計画的な保全・改修活動実施、災害発生防止

非農業者を含めた、集落住民による一体的活動 農業施設の維持・管理

- ・非農業者8名と連携して、耕作放棄地の復旧や水路の清掃、農道の草刈りを実施

(農道約9km、用排水路約12km)

耕作放棄地の解消

- ・トラクター・コンバイン等を持ち寄り、水田・転作田・自家菜園等へ復旧(H20実績1.2ha)